

## 研究課題名「外科的大動脈弁置換術後患者における透析の有無とリハビリテーション経過に関する後方視的観察研究」に関する情報公開

### 1. 研究の対象

2014年4月から2019年8月までの間に、当院で外科的大動脈弁置換術を受けられた方。

### 2. 研究目的・方法・研究期間

目的：本研究は、当院で外科的大動脈弁置換術を受けられた患者さんにおいて、手術前に透析の治療を受けられていたかどうか、手術後のリハビリテーションの進行や退院前の体力・筋力に影響を及ぼすかを調査するために行います。透析を受けられる患者さんは、3回/週の透析や透析後の疲労感のため、十分なリハビリテーションを行うことが難しく、手術後の筋力や体力がより低下しやすいことが予想されます。そのため、この要因を検討することは、透析を受けられる患者さんに対するリハビリテーションの重要性を明らかにし、リハビリテーション方策を再考することの一助になると考えます。

方法：2014年4月から2019年8月までの間に、当院で外科的大動脈弁置換術を受けた全患者を対象とし、診療録（カルテ）より情報を収集します。得られた情報を用いて、透析治療の有無が手術後のリハビリテーションの進行や体力・筋力に影響を及ぼすかを知るために、各種解析を行います。研究期間は実施承認日～2022年3月31日の予定です。

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

診療録より臨床情報（年齢、性別、身長、体重、診断名、治療歴・治療内容、合併症、既往歴、健康状態など）、検査データ（心臓超音波検査、血液検査など）、およびリハビリテーションで得られた情報（実施内容、身体機能、リハビリ進行度など）、入院期間など。これらの項目は、通常の診療で実施されているものであり、本研究の参加によって特別なものになるわけではありません。

### 4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

名古屋大学医学部附属病院 リハビリテーション部

理学療法士 堀将也

〒466-8550 名古屋市昭和区鶴舞町 65 番地

名古屋大学医学部附属病院 リハビリテーション部

電話番号：052-744-2687 FAX 番号：052-744-2688

e-mail: m.hori@med.nagoya-u.ac.jp

名古屋大学医学部経営企画課 臨床審査公正係 電話番号：052-744-2479

研究責任者：

名古屋大学医学部附属病院 心臓外科学

病院講師 徳田順之